

みんなの鳥獣対策

浪江町の地域課題「鳥獣被害」を防ぐ、軽減させるため
地域で取り組む鳥獣対策を紹介します。

今年の10月に、夜になると屋根裏から動物の足音が聞こえるようになりました。寝ている間に聞こえると不安になりますし、糞尿で屋根が傷まないか心配でした。

■いつから、どんな被害がありましたか

■加害獣種を教えてください
ハクビシンと思われる屋根裏に潜む動物の侵入被害です。



遠藤 博雄さん(立野)

避難解除後から帰還して、浪江町での生活は今年で5年目になりました。



屋根裏を照らした様子
断熱剤があるため、奥まで照らせませんでしたが、効果がありました。

その後、雨どいにグリセリンを塗りました。
今後どこから侵入したのか特定し、侵入口をふさぐ工事を建設会社に依頼したいと思っています。

■具体的な対策方法を教えてください
当初は夜間に注意を配り、音が鳴った時に天井をついたり、ラジオを流したりしていましたが、効果はありませんでした。
毎日17時頃になると屋根裏から足音が聞こえるので、足音が聞こえた際に、懐中電灯で屋根裏を照らして追い払いました。その時はハクビシンの姿を見つけれませんでした。翌日の夜の足音を最後に、聞こえなくなりました。その後、雨どいにグリセリンを塗りました。



グリセリンを使った侵入口の特定方法で、歩いたら足跡が雨どいに残ります。

ありがとうございます。

《農林水産係から一言》
足音がなくなった後も、次の侵入に対して対策を実施していて素晴らしいです。

■今後の意気込み、伝えたいこと
まずは、自分の家は自分で守るために、自宅回りの整備が肝心です。その上で、動物を寄せ付けない環境を浪江町の皆さんと考えて行きたいです。
浪江町を汚さないように守っていくためにも、自分たちができるラインを見極めて無理なく対策を続けていきたいです。



特定外来生物対策(アライグマ)事業 途中経過のお知らせ

町では、10月から特定外来生物対策事業として、講習会を実施し、6人の参加者に捕獲許可の承認を行いました。11月6日(月)までに捕獲したアライグマの捕獲数をお知らせします。

※今年度の事業参加受付は終了していません。次年度も実施予定ですので、興味のある人はご参加ください。

※令和5年11月6日(月)時点の捕獲結果

| 地区 | 捕獲数 | 参加人数 |
|------|-----|------|
| 北幾世橋 | 12頭 | 3人 |
| 立野 | 1頭 | 1人 |
| 川添 | 0頭 | 1人 |
| 加倉 | 0頭 | 1人 |

見た目のかわいいアライグマですが、農作物に被害を出すだけでなく、屋根裏に糞尿を落として、屋根を腐らせるなどの被害を引き起こします。

アライグマは一度に6頭程度の子を産むため繁殖力が強く、手が付けられなくなる前に、地域で捕獲し尽くすことが重要です。

事業参加者の声



荒 則光 さん(北幾世橋)
昨年引き続き、当事業に参加し、アライグマの捕獲を行っています。

罠の設置場所、エサを日々考えながら捕獲を行っています。他の参加者が捕獲した話を聞くと、自分も頑張ろうという気持ちになりますし、捕獲ができるとアライグマの被害を防げることが嬉しく、生活を送る中で、この事業へ参加することが、日々の生活を前向きに考えることができるので、楽しみのひとつになっています。

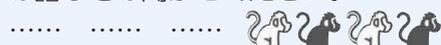
特定外来生物とは

国外由来の動物で、国内の生態系維持に悪影響を及ぼしたり、深刻な農作物、家屋被害を引き起こす動物です。



町では有害鳥獣対策に取り組む皆さんをサポートしていきます。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話しをお聞かせください。



問 農林水産課農林水産係
TEL 0240(34)0246

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与(出荷を目的とした農地に限る)

追払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会



町ホームページでもご覧いただけます